



## 徳島大学 鳥人間プロジェクト

9月2日読売テレビ系列で放送された『鳥人間コンテスト2021』。みなさん、ご覧になりましたか? 「徳島大学 鳥人間プロジェクト」のメンバー19人の熱い思いと共に、阿波和紙を藍で染めた市松模様の機体が、琵琶湖を滑空しました。

パイロットは理工学部4年の八木橋依吹さん。大学で出会った横濱こころさんと共に『鳥人間コンテスト』出場を目指し、鳥人間プロジェクトを立ち上げました。本来なら昨年出場予定でしたが、コロナの影響で開催中止に。愕然となり、引退も考えたそうですが、諦めきれず、メンバーに思いを打ち明けると、「代表としてパイロットをとつとめて欲しい」と決断を後押ししてくれたといいます。

思いを新たに出場に向け、クラ

# 徳島の魅力あふれる機体で飛んだ! 『鳥人間コンテスト2021』 出場レポート



パイロットの八木橋さん。

ウドファンディングも行い、藍染め工房ルアフさんをはじめとする地元への応援もあつて念願の出場を遂げると、SNSのいいね!が増えたり、小学校の同級生からお祝いの連絡が来たり、多くの人が祝福を受けたのだから。

「自分たちが作った飛行機に乗って飛べたことは、嬉しさと感動でいっぱいです」と八木橋さん。実機で体感した揚力は、格別だったといいます。

飛距離は66.67m。入賞は逃しましたが『THE FRESH BIRDMAN』賞と、副賞として『彦根市長賞』を受賞。女子大生2人がゼロから立ち上げ、徳島らしさをアピールした機体で、多くの人の心に残るフライトをしたことが評価されました。

「他のチームの機体も見ることができて、とても勉強になりました。」

。今回で安全性や強度を確認することができたので、設計は大きく変えず、徳島大学の機体は安全でしっかり飛ぶという印象が定着するよう、まずは連続出場を目指したいと思っています。

『鳥人間コンテスト』は優れた機体だけが出場できるというわけではありません。話題性やオリジナリティも出場のポイント。「初出場よりも2回目の方が難しいので、引退してもできるだけ後輩をサポートしていきたい」という八木橋さん。徳大が常連校となるよう、ぜひ応援ください。



立ち上げメンバーの横濱こころさん(写真右)



コンテストは7月31日、8月1日に開催され、「滑空部門」に出場。令和3年度前期は新型コロナウイルス感染状況に波があり、学生の活動が制限されることもありましたが、限られた期間の中で活動し、成果を残しました。